

## 有田焼 おしゃれ携帯ルーペのご提案

日本磁器発祥の地である有田の磁器は 17 世紀後半、オランダ連合東インド会社により、遠くヨーロッパまで輸出され、多くの王侯貴族を魅了し、マイセンをはじめとするヨーロッパの磁器文化に多大な影響を与えました。今なお人の心を魅きつける有田の匠の技・伝統美を追求し、新たに「有田焼おしゃれルーペ」を開発致しました。高級感漂う香蘭社製の磁器が表についた携帯収納タイプのルーペをご提案いたします。



ARITA TAKUMI  
有田焼おしゃれ携帯ルーペ

NP04-SAK 桜花絵

サイズ 42 mm×56 mm×13H (52g)

金属部 鉄 クロームメッキ

レンズ部 ガラス 36 mm 倍率 4 倍

フレーム ABS 樹脂 日本製

販売価格 6,000円 (税別)

チェーン付き

ARITATAKUMI  
有田焼おしゃれ携帯ルーペ

NP04-RBU るり金葡萄絵

サイズ 45 mm×56 mm×13 H (52g)

金属部 鉄 クロームメッキ

レンズ部 ガラス 36 mm 倍率 4 倍

フレーム ABS 樹脂 日本製

販売価格 6,500円 (税別)

チェーン付き



専用外箱 色(黒) 107×90×46H

専用ケース匠オリジナル 色(黒) 100×80×38H

専用巾着 匠オリジナル 色(黒) 72×90

しおり取扱説明書 匠オリジナル色(黒) 78×96

しおり香蘭社説明 匠オリジナル色(白) 78×96



#### 使用上の注意事項

注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただくため、必ず守ってください。

- 1) レンズを通して、太陽や強い光を見ないでください。
- 2) 直射日光のあたる所に放置しないでください。

## <香蘭社概要>

今からおよそ三百年前、江戸文化が華麗に花開いた元禄の頃、初代 深川栄左エ門が肥前有田で『香蘭社』の前身となる磁器の製造を始めました。そして日本に近代化をもたらした明治維新の激動期、有田焼は佐賀鍋島藩の一切の保護と支援を失いました。

その再興に指導的役割を果たしたのが、八代 深川栄左エ門でした。強い自立の精神が、当時の選りすぐりの陶工や絵付師、それに陶商達を一つにまとめ結社を作りました。これが『香蘭社』です。時に明治八年。その後、相次いで世界各国で行われた万国博で数々の名誉金牌を受賞。海外でもその評価を高めるとともに、明治二十九年には宮内省御用達の栄にも浴し今日に及んでいます。

『香蘭社』の製品は、有田磁器独特の白く硬い透明な生地の上に、優雅な染付と華麗な赤絵を配した典雅な文様、十八世紀フランスのセーブルを中心に、ヨーロッパで愛好された金銀彩のルリ釉もの、さらに目にやさしく心がなごむグリーンシリーズ製品など多彩を極めています。

『香蘭社』の製品は、すべて伝統を誇る有田色絵磁器の多様な文様を集大成し、有田の伝統様式を一步前進させたとして評価され、世に「香蘭社スタイル」とも「香蘭社調」とも呼ばれ、広く親しまれています。

今回、弊社企画にもとづき、有田の (株) 匠 と (株) 香蘭社のコラボにて開発しました有田焼おしゃれバックハンガーをぜひ、ご検討いただきたくお願い申し上げます。

磁器部 製造： 株式会社 香蘭社 (こうらんしゃ)  
企画製造元： 株式会社 匠 (たくみ)